

高効率なサーマルリサイクル技術

廃棄物発電システム

特徴

- 国内で72箇所の廃棄物発電設備(ごみ焼却プラントに併設)建設実績
- 発電量の総計は380MW に達する
- プラントの稼働実績は、8,000時間連続運転を達成

概要

(技術の原理・動作等)

ごみ焼却に伴う発生熱を効率よくボイラで吸収し、蒸気タービン・発電機により電気エネルギーに変換する再生可能で持続可能なエネルギー変換技術。例えば、8,800kJ/kgの熱量を持つごみを1日当たり1,000トン処理すれば、26MWの発電が可能。

舞洲工場(大阪市)

処理量 900t/d、発電量 32,000kW。

発電された電気は、一部工場内で使用される他は、電力会社に供給される。

施設内見学ツアーも用意している。



舞洲工場(大阪市)

北投プラント(台湾)

処理量 1,800t/d、発電量 48,000kW。

台湾に建設した本プラントを含めた3プラントは、各々8,000時間の連続運転を達成している。



北投プラント(台湾)

中央清掃工場(東京都中央区)

処理量 600t/d、発電量 15,000kW。

同工場建設の際には、リサイクルされたコンクリート、碎石などを用いた。



中央清掃工場(東京都中央区)

上海老港プラント(中国)

処理量 3,000t/d、発電量 60,000kW。

上海市内で収集されたごみは、沿岸部に位置する本プラントへ船によって搬入される。



上海老港プラント(中国)

適用分野
廃棄物焼却施設

水

省エネ・エネルギー回収

省エネ・創エネ
エネルギー

新エネルギー

再資源・省資源
廃棄物処理

大気

土壌

その他

日立造船株式会社

環境事業本部
環境営業統括部 環境大阪営業部

〒559-8559 大阪市住之江区南港北1丁目7-89

● TEL / 06-6569-0061 ● FAX / 06-6569-0079 ● <http://www.hitachizosen.co.jp>